溝上慎一の教育論（動画チャンネル） No423

１ヶ月前案内

第7回桐蔭学園溝上研究室セミナーのご案内（出版記念2026年9月27日）
課題の設定から質を高めるための総合的な探究と課題研究

・溝上慎一著『課題の設定から始める総合的な探究ー自己の在り方生き方を育てる理論と実践』
・松本真哉編『探究的学習における課題指導ーモノのライフサイクルを通して』

溝上　慎一　　Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

https://smizok.com/
E-mail　mizokami@toin.ac.jp

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長（2020-2021年）。京都大学博士（教育学）。
＊詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。
※公益財団法人電通育英会の研究委託を受けて行われています。
※本動画では字幕を付けていませんので、必要な方は「設定」で「字幕オン」にしてご利用ください。

＜詳細＞

- 日時：2026年9月27日（日）10:00-17:00

  ※昼食はサンドイッチ等をご用意します。
  （お詫び：前々回の2/28の桐蔭小で用意した昼食は少なかったと思います。
  申し訳ありませんでした。調整します）

- 場所：桐蔭学園Ⅳ号館401-402号室
  ※最寄り駅：東急田園都市線 青葉台駅からバス
  https://toin.ac.jp/info/access/campusmap/

- 参加費： 8,000円

- 定員：50名

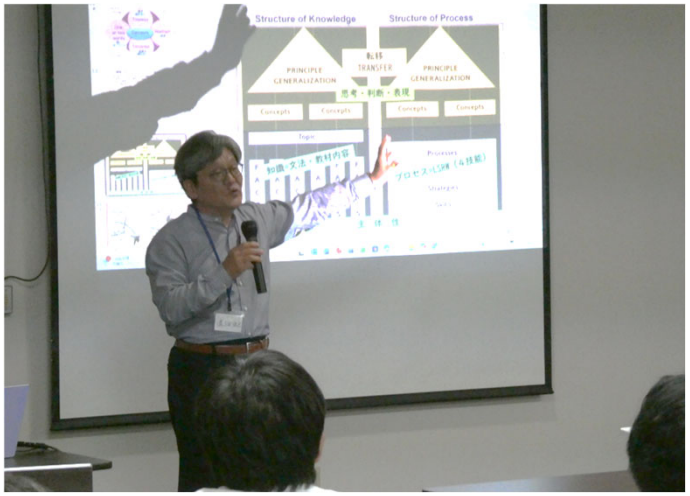
＜プログラム＞

※すべてアクティブラーニング形式で行います

①10:00-12:00　参加者発表セッション

※4～5名発表者を募集します。先着順と内容のバランスを考慮して選出します。
※参加者同士で実践交流を促進するためのものです。溝上からもコメントや助言をします。





（第6回セミナー@伊豆　2026.6）

②12:00-13:00　昼食＆ネットワーキング

※すべてアクティブラーニング形式で行います

③13:00-15:00　講演セッション１

溝上慎一著『課題の設定から始める総合的な探究
ー自己の在り方生き方を育てる理論と実践ー』
東信堂（2026年8月刊行予定）

本書は、文部科学省の施策を基盤に、総合的な学習・探究を教育課程全体の視座から捉え直し、その本質と実践を論じる。特に「総合的」という意義に着目し、各教科と実社会をつなぐ役割や、「自己の在り方生き方を考える」学習としての独自性を明らかにする。さらに、課題研究との関係や次期学習指導要領の方向性を踏まえ、「課題の設定」「興味・関心」「自己の在り方生き方」を軸とした実践を提案し、関連文献も紹介して理解を深める。



溝上 慎一
（学校法人桐蔭学園
理事長、桐蔭横浜大
学教授）

※すべてアクティブラーニング形式で行います

④15:15-16:45　講演セッション2

松本真哉編『探究的学習における課題指導ーモノのライフサイクルを通してー』東信堂
（2026年7月 Coming Soon）



教員がすべてのテーマに専門的に関われるとは限らないのが総合的な探究である。本書は、総合的な探究テーマでよく扱われるテーマの一つ、SDGsに関して、これだけでも知っておけばけっこう深い探究を指導できるというものである。モノを生産・消費・廃棄という視点から捉え直す「ライフサイクル」を説く

（溝上の同書への推薦帯から）



松本真哉
（横浜国立大学
大学院環境情報研究
院 教授）

ご視聴有難うございました
チャンネル登録もお願いします

質問、コメントは個人メールで受け付けます。

E-mail mizokami@toin.ac.jp

・お名前、ご所属
※可能なら専門分野や教科、職位なども教えてくださると、回答の助けになります。
なお、動画内では個人のお名前等は出しません。
・質問、コメント等



溝上慎一の教育論（動画チャンネル） No415

第7回桐蔭学園溝上研究室セミナーのご案内（出版記念2026年9月27日）
課題の設定から質を高めるための総合的な探究と課題研究

・溝上慎一著『課題の設定から始める総合的な探究ー自己の在り方生き方を育てる理論と実践』
・松本真哉編『探究的学習における課題指導ーモノのライフサイクルを通して』

溝上　慎一　　Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

https://smizok.com/
E-mail　mizokami@toin.ac.jp

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長（2020-2021年）。京都大学博士（教育学）。
＊詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。
※公益財団法人電通育英会の研究委託を受けて行われています。
※本動画では字幕を付けていませんので、必要な方は「設定」で「字幕オン」にしてご利用ください。



第４回セミナー「主体性総論」@横浜市青葉台（2025年12月）



桐蔭小公開研究会＋第５回溝上研究室セミナー　（2026年2月）



第６回溝上研究室セミナー@伊豆高原（2026年6月）

第7回桐蔭学園溝上研究室セミナーのご案内

＜目的＞

- これから学校・大学はどうなる？
- 現代社会を生きる子ども・生徒学生の資質・能力をどう育てる？
- 自分の授業や活動、考えていることを発表してコメントがほしい
- 全国の教育関係者と交流して自分を高めたい
- 次期学習指導要領改訂に向けた最新の情報が欲しい

などに関心のある方

＜対象＞

小学校～大学までの学校教育に関わる教職員、教育関係者が主な対象ですが、内容に関心のある方であれば、テーマに詳しくない方、若いキャリアの方、教育産業、企業等の方、どなたでもご参加いただけます。

溝上研究室セミナーでとても大切にしていること

- すぐに役立つ情報・知識だけではなく、体系的に、概念的にも学ぶこと
- 対話･思考をすること
- 学校種を超えて、様々な属性や背景をもつ他の教育関係者とネットワーキングすること、他の教育関係者の実践や考えから互いに学び合うこと






＜詳細＞

- 日時：2026年9月27日（日）10:00-17:00

  ※昼食はサンドイッチ等をご用意します。
  （お詫び：前々回の2/28の桐蔭小で用意した昼食は少なかったと思います。
  申し訳ありませんでした。調整します）

- 場所：桐蔭学園Ⅳ号館401-402号室
  ※最寄り駅：東急田園都市線 青葉台駅からバス
  https://toin.ac.jp/info/access/campusmap/

- 参加費： 8,000円

- 定員：50名

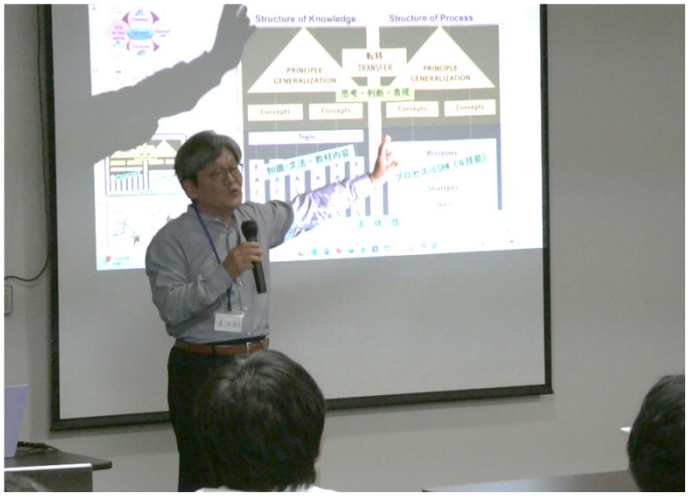
＜プログラム＞

※すべてアクティブラーニング形式で行います

①10:00-12:00　参加者発表セッション

※4～5名発表者を募集します。先着順と内容のバランスを考慮して選出します。
※参加者同士で実践交流を促進するためのものです。溝上からもコメントや助言をします。





（第6回セミナー@伊豆　2026.6）

②12:00-13:00　昼食＆ネットワーキング

※すべてアクティブラーニング形式で行います

③13:00-15:00　講演セッション１

溝上慎一著『課題の設定から始める総合的な探究
ー自己の在り方生き方を育てる理論と実践ー』
東信堂（2026年8月刊行予定）

本書は、文部科学省の施策を基盤に、総合的な学習・探究を教育課程全体の視座から捉え直し、その本質と実践を論じる。特に「総合的」という意義に着目し、各教科と実社会をつなぐ役割や、「自己の在り方生き方を考える」学習としての独自性を明らかにする。さらに、課題研究との関係や次期学習指導要領の方向性を踏まえ、「課題の設定」「興味・関心」「自己の在り方生き方」を軸とした実践を提案し、関連文献も紹介して理解を深める。



溝上 慎一
（学校法人桐蔭学園
理事長、桐蔭横浜大
学教授）

※すべてアクティブラーニング形式で行います

④15:15-16:45　講演セッション2

松本真哉編『探究的学習における課題指導ーモノのライフサイクルを通してー』東信堂
（2026年7月 Coming Soon）



教員がすべてのテーマに専門的に関われるとは限らないのが総合的な探究である。本書は、総合的な探究テーマでよく扱われるテーマの一つ、SDGsに関して、これだけでも知っておけばけっこう深い探究を指導できるというものである。モノを生産・消費・廃棄という視点から捉え直す「ライフサイクル」を説く

（溝上の同書への推薦帯から）



松本真哉
（横浜国立大学
大学院環境情報研究
院 教授）

⑤ その他

すべてのプログラムは溝上がモデレーターを務めます。関連する学術的な理論や文科省施策についての情報は随時補足解説をします。

参加申込：以下のフォームに記載の上、溝上までメールをください。
　　溝上慎一宛（mizokami@toin.ac.jp）

==========

- お名前（漢字とふりがな）（　　）
  ※（例）溝上慎一 みぞかみしんいち
- 所属機関・部署、問題なければポジション（　　）
  ※（例）学校法人桐蔭学園理事長、桐蔭横浜大学教授
- メールアドレス（　　）
- 参加費領収書：要・不要　←どちらかを消してください
  ※「要」の方は、宛名、但し書きをどのように記載してほしいかを書いてください。
- 支払い方法：銀行振り込み・当日受付で現金支払い　←どちらかを消してください
  ※申込み受付後に個別にご案内します。
- 参加者発表セッションに申し込む方のみ
  （申し込む場合は）「　　」（仮タイトル）

==========

ご視聴有難うございました
チャンネル登録もお願いします

質問、コメントは個人メールで受け付けます。

E-mail mizokami@toin.ac.jp

・お名前、ご所属
※可能なら専門分野や教科、職位なども教えてくださると、回答の助けになります。
なお、動画内では個人のお名前等は出しません。
・質問、コメント等

